

さっぽろゆきまつりのひに



さく 尾崎 潤

さっぽろゆきまつりのひ。

たくさんの せつぞうにまじって、だれが つくったのかわからない、
おおきな らっかせいのせつぞうが ならんでいました。



そのらっかせいから、
ワミのワミ、
つづいて おとうとのニミが できました。



ワワとニニのワニきょうだいは、ゆきまつりをみるために、
ジャングルから やってきたのです。
「はいちゃん、ゆきまつりって すていね」
「きてよかったあ。ゆきって、こんなにきれいで つめたいものなんだなあ」



それから、きょうだいは ごはんを たべにいきました。



ちゅるちゅる つるつる みそラーメン
すすむのたのしい おいしーめん
ぷちぷち どんどん いくらどん
はなびが どんどん くちのなか

「おいしいね」

「おいしいなあ」



まよなかになると、ジャングルに
ゆきを もってかえるために、
きょうだい は うごきだしました。

でも どうやって
もってかえるのでしょうか？



きょうだい、
あちこちにつもっていた
ゆきを かきあつめると、



おおきな ぶつかぜいのなかに つめてみました。
じつは、このぶつかぜいは、れいぞうこだつたのです。
おまけに、きょうだいのへやも ついていました。
れいぞうこにいれたので、ゆきが とけるしんぱいはありませんね。



ゆきを ぎゅうぎゅうに つめこむと、
きょうだいは、らっかせい れいぞうこを
どろへおしだして とびのりました。



すると、れいぞうこはすべりだし、ぐんぐん スピードをあげて、
さかみちをくだり、カーブをまがり、ずんずん すすんでいきました。

あ、うみが、みえできましたよ！



ざっぱーん！

らっかせい れいぞうこは、ふねみたいに うかびました。

さあ、ジャングルへ かえりましょう。



「にいちゃん、ゆきをみたら、ジャングルのみんなよろこぶね。
でも、たくさんもってかえって、さっぽろのひとたち おこつてないかな」
「こんど、おかえしに ジャングルのはなを もっていこう」
「それはいいね。またおいしいものもたべられるしね」
ワニのきょうだいは、のんびりとジャングルへ かえっていきました。





さっぽろゆきまつりのひに さく 尾崎 潤

平成31年(2019年)1月

発行 札幌市えほん図書館

札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎6階

電話:011-866-4646 ファクス:011-866-4600

<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/ehon/index.html>

本書の著作権は、原作者に帰属し、全部又は一部を複写、複製、転記することを禁じます。なお、札幌市が行う作品の複製・配布に係る権利、展示会・ホームページ等での公開に係る権利及び加筆修正に係る権利(複製権、上映権、公衆送信権、伝達権、口述権、展示権、譲渡権、貸与権、同一保持権)は札幌市に帰属します。